

B2B 輸送のプラットフォームを推進するハコベル株式会社へ出資

日本郵政キャピタル株式会社（以下、日本郵政キャピタル）は、ハコベル株式会社（本社：東京都中央区、以下：ハコベル）へ出資を実行したことをお知らせいたします。

ハコベルは、「物流を持続的に発展させるプラットフォームを作る」というビジョンの元、B2B 輸送の新しい業界標準、オープンなプラットフォームの構築を目指して取り組んでいます。

(1) ハコベルについて

物流のプラットフォーム「ハコベル」は、個人や企業への配送を行うラストワンマイルから、都市間の輸送などを行う幹線輸送まで全国の物流を支えるサービスを展開しています。軽貨物を対象とした「ハコベル運送手配」では、ドライバーの非稼働時間を有効活用し、荷主とドライバーを直接マッチングさせることで、高品質かつ低価格な配送の仕組みを提供しています。

サービス利用後には利用者がドライバーを評価する仕組みを設け、サービス品質向上を実現しています。一般貨物を対象とした「ハコベル運送手配 PLUS」は荷主と全国の運送会社を繋ぎ、WEB アプリケーション上で自社の車両、協力会社の車両を管理し、配車、請求管理を行う機能と、ハコベル配車センターへの配車依頼を行う機能を備えています。物流コストを削減させ、DX を推進する企業の支援に取り組んでいます。

〈会社概要〉

会社名 : ハコベル株式会社
代表 : 代表取締役 CEO 狭間 健志
設立 : 2022 年 8 月 1 日
所在地 : 東京都中央区日本橋三丁目 9 - 1 日本橋三丁目スクエア 2F
資本金 : 6 億 40 万 9000 円
ウェブサイト : <https://corp.hacobell.com/>
サービスサイト : <https://www.hacobell.com/matching>
<https://www.hacobell.com/tms>
プレスリリース : <https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000056.000106200.html>
https://corp.hacobell.com/news/240201_hacobell_teikei



(2) 日本郵政キャピタルのコメント

代表取締役社長 丸田 俊也

コメント：物流危機は、日本郵政グループにおいても非常に重要な問題であり、様々な方々と一緒になって取り組んでいく必要性を感じていますが、ハコベル株式会社の「物流を持続的に発展させるプラットフォームを創る」というビジョンにご一緒させていただきたく、出資させていただきました。ハコベル株式会社は、配車手配だけでなく、物流 DX システムによって、荷主であるお客さまに価値を提供、サポーターズプログラムによって運送会社等パートナーへも支援を行っています。日本郵政グループはハコベル株式会社とともに、お客さまやパートナーに対する価値提供に貢献して行きたいと考えています。

